

大丸下関店閉店に伴う跡地利活用検討業務プロポーザル審査委員会 評価基準

評価項目		評価の視点・基準	係数	配点
1. 組織評価				
履行実績		○令和3年度以降公告日までに完了した業務について、評価する。 ○同種業務実績がどの程度あるか、件数だけでなく、実績の内容・成果が本業務にふさわしいかを総合的に評価 A: 同種業務実績があり、実績の内容・成果が本業務と同規模又はそれ以上の規模で、かつ、3件以上ある。 B: 同種業務実績があり、実績の内容・成果が本業務と同規模相当であるが、3件未満である。 C: 同種業務実績があるが、実績の内容が本業務に比し見劣りする。	× 1	5
実施体制		業務に応じた担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できるかを総合的に評価 A: 担当者の配置や構成が明確であり、迅速・柔軟に対応できる。 B: 担当者の配置や構成が明確であるが、迅速・柔軟に対応できるか不明である。 C: 担当者の配置や構成が明確でなく、迅速・柔軟に対応できない恐れがある。	× 1	5
2. 担当者評価				
管理技術者	専門性	業務に対する資格又は実務経験について総合的に評価 A: 業務に対する資格、実務経験がある。 B: 業務に対する資格はないが、実務経験がある。 C: 業務に対する資格、実務経験共にない。	× 2	10
	同種業務の実績	○令和3年度以降公告日までに完了した業務について、評価する。 ○同種業務実績がどの程度あるか、件数だけでなく、実績の内容・成果が本業務にふさわしいかを総合的に評価 A: 同種業務実績があり、実績の内容・成果が本業務と同様又はそれ以上。 B: 同種業務実績があるが、実績の内容が本業務内容より極端に小規模。 C: 同種業務実績がない。	× 2	10
主任技術者	専門性	業務に対する資格又は実務経験について総合的に評価 A: 業務に対する資格、実務経験がある。 B: 業務に対する資格はないが、実務経験がある。 C: 業務に対する資格、実務経験共にない。	× 1	5
	同種業務の実績	○令和3年度以降公告日までに完了した業務について、評価する。 ○同種業務実績がどの程度あるか、件数だけでなく、実績の内容・成果が本業務にふさわしいかを総合的に評価 A: 同種業務実績があり、実績の内容・成果が本業務と同様又はそれ以上。 B: 同種業務実績があるが、実績の内容が本業務内容より極端に小規模。 C: 同種業務実績がない。	× 1	5
3. 実施方針等				
実施方針		目的、条件、内容の理解度が高い場合に評価 A: 本業務の目的、条件、内容を十分に理解している。 B: 本業務の目的、条件、内容のいずれかにおいて理解不足である。 C: 本業務の目的、条件、内容すべてにおいて理解不足である。	× 2	10

評価項目		評価の視点・基準	係数	配点
実施工程		本業務の実施に十分かつ有効な実施工程を提案できている場合に評価 A: 本業務の実施に十分かつ有効な実施工程になっている。 B: 本業務の実施に十分かつ有効な実施工程にややなっていない。 C: 本業務の実施に十分かつ有効な実施工程になっていない。	× 1	5
4. 評価テーマ ①建物の活用方針及び導入機能・ゾーニング案の検討にあたっての着眼点や工夫 ②建物の活用手法(官民役割分担及び導入手法)案の検討にあたっての着眼点や工夫				
全体	評価テーマ間の整合性	相互に関連する複数の評価テーマ間の整合性が高い場合に評価 A: 各評価テーマの項目の評価がすべてB評価以上 B: 各評価テーマの項目の評価にC評価が1つある。 C: 各評価テーマの項目の評価にC評価が2つ以上ある。	× 1	5
評価テーマ①	的確性	(1)与条件との整合性が高い場合(2)本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合 (3)事業の重要度を考慮した提案となっている場合(4)事業の難易度に相応しい提案となっている場合 A: (1)～(4)のいずれにも該当する場合 B: (1)～(4)のうち、3項目に該当する場合 C: (1)～(4)のうち、該当する項目が2項目以下の場合	× 2	10
	実現性	(1)提案内容に説得力がある場合(2)提案内容を裏付ける類似実績が明示されている場合、(3)利用しようとする専門技術・知見、資料が適切な場合 A: (1)～(3)のいずれにも該当する場合 B: (1)～(3)のうち、2項目に該当する場合 C: (1)～(3)のうち、該当する項目が1項目以下の場合	× 2	10
評価テーマ②	的確性	(1)与条件との整合性が高い場合(2)本業務を遂行するにあたって有効性が高い場合 (3)事業の重要度を考慮した提案となっている場合(4)事業の難易度に相応しい提案となっている場合 A: (1)～(4)のいずれにも該当する場合 B: (1)～(4)のうち、3項目に該当する場合 C: (1)～(4)のうち、該当する項目が2項目以下の場合	× 2	10
	実現性	(1)提案内容に説得力がある場合(2)提案内容を裏付ける類似実績が明示されている場合、(3)利用しようとする専門技術・知見、資料が適切な場合 A: (1)～(3)のいずれにも該当する場合 B: (1)～(3)のうち、2項目に該当する場合 C: (1)～(3)のうち、該当する項目が1項目以下の場合	× 2	10
合計				100

【配点基準】

A	5点
B	3点
C	1点